

久木小学校区住民自治協議会・広報誌

# 住民協ひろば

第20号（準備会から通算第41号）

発行日 平成30年12月1日

発行所 逗子市久木2-1-1

久木小学校区住民自治協議会

発行人 田倉 由男

## 聖和学院前の十字路見守り活動——

### 「人がつながれば、地域は動き出す」

——こんな危ないところに、どうして見守りの人がいないの。

こうして、久木地区の中村規子さんは2年前から自分で可能な水・木・金の朝7時45分から8時20分まで、この危ない場所で見守り活動を始めたのです。その場所は聖和学院前の十字路です。この十字路は車や自転車の通行量が多く、同時に通学路なので子どもたちの人数も多いのです。

今年の9月の新学期から、山の根地区の方が中村さん一人でするのは大変と、月・火を担当することになりました。二人は「みんなの食堂」の仲間であり、応援のきっかけは河野新聞逗子販売所が毎月発行しているミニ・コミ紙に掲載された中村さんの見守り活動紹介の記事でした。中村さん一人からやっと二人になり「みんなの食堂」仲間にも呼びかけをすることになり、同時に見守りメンバー募集のポスターを9枚作り掲示したのです。

人と人がつながり、久木地区の70代の男性の方が金曜日、3名の女性の方が月・火・水曜日担当することになったのです。

「人と人がつながれば地域は動き出す」このフレーズの真意を実感しました。「みんなの食堂」の厨房の場で人と人がつながり、そのつながりが広がり危ない場所の「見守り活動」の小さな核が出来上がったのです。

これは、とてもとても素晴らしい出来事です。心から喝采します。

そして、この小さな核の躍動を応援し、見守っていききたいと思います。

田倉 由男（校区住民協代表）

## 30年11月度役員会

11月3日(土)、13:30～15:00、久木会館で20名(うち役員11名)が参加して開催され

ました(他に委任状提出3名あり)。主とした議題は次の通りです。

### 1. 住民協の31年度事業計画と選択事業に関する討議

市は、緊迫していた財政に関して一定の見通しが得られたため、31年度の住民協への交付金を、

大凡29年度並みのレベルに戻すことを決定しました。それに基づいて市に提出する、31年度の住民協の事業計画と選択事業(注)の事務局原案を審議しました。

(注)協議会が市長が別に定める事業の中から選択し実施する事業

(その後の経緯：住民協案を11月8日に市に提出、市から改めて選択事業メニューの提示がありました。12月7日に住民協から交付金要望額を提示します。)

事業計画の概要は次の通りです。◆基本的には30年度を継承する。◆30年度に実施したふれあいサービス(住民同士でちょっとした困りごとを有償で助け合う活動)で、特定地域で実施したケーススタディをまとめて制度化し、より広い地域で活動を具体化していく。◆まちのこそだち久木(地域住民の保育活動)やみんなの食堂(地域の子ども食堂)を発展させると共に、そこから芽を

出す新しい活動を育てていく。◆住民参加の防災地図作りを通して、災害時助け合いのできる(互近助)小さなコミュニティを育てていく。減災啓発活動を行う。◆地域活動センターをより役立つセンターとするためにコミュニティセンターへの移行する体制の整備を行っていく。◆事務局運営をより円滑にするために事務局の組織化を行っていく。

市に提出した選択事業案の概要は次の通りです。◆事業計画に則り、ふれあい・子ども・減災・拠点の各部会に関係するもので、次の6項目、ふれあいサービス・みんなの食堂・子ども見守り支援・防災マップ作製・防災啓発活動。(詳しくは改めて決定後お知らせします。)

## 2. 31年度住民協執行部の体制について

住民協では31年度に初めて役員の改選期を迎えます。重要な会長・事務局長の選任の手順についてははっきりした決まりがないので、混乱を避け、透明性の高い方法として、次のような手順を事務局案として提案、審議の結果了承されました。「現行の会長・副会長・事務局長が協議し、31

年度から就任する会長・事務局長候補を選考の上、役員会に推薦する。役員会で審議の上総会に推薦する。遅くとも31年2月度役員会で総会に推薦する候補を決定する。」尚、上記の手順を住民協規約に付記事項として入れておく提案がありました。

## 役員会からのお知らせ

### 1. みんなの食堂(第9回)報告

10月26日(金)開催。

- ◆メニュー：鮭チラシご飯と地域の季節の野菜
- ◆参加者：119名(子ども55、大人41、

スタッフ23)、◆収支：収入¥28,700、支出¥11,152、差引残高¥17,548、◆今回の特徴は桜山地域からの参加者が多かったことです。

### 2. 住民協ひろば特別号第2号を発行

10月30日に広報ずしと同時に、校区の全世帯(約5100世帯)に配布されました。市民交流

センター、コミュニティセンター等の公共施設に置いて、市民へ供します。

### 3. 藤江博士と考える会の開催

「ロボット工学と豊かな老い」、或いは「ロボットに手伝わせて豊かな老後を勝ち取ろう!」の二つの表題のポスターで広報していますが、同じ講演

会です。生活支援ロボットの活用は既に始まっており、高齢者も関係者も参考になる集会です。12月16日、14:00~16:00、久木会館で開催。

## 部会報告

### ふれあい部会(10・30)報告 龍村敦子

ふれあい部会を一言で表現すると「ワイワイガ

ヤガヤ」。かなり紛糾します。そしてそれは大変結構なことだと思っています。トンネルを挟んだ

けで、山に上がっただけで、何十年も作ってきた町内の空気感も違えば、活動内容も違って当然。違って当然の中で一緒もいいね！一緒にやれば新しい始まりも期待できる。その一緒の行動のコミュニティサービス、山の根地区のケーススタディも来月12月でひとくくりとなります。山の根地区では4ケースが継続しています。入浴見守り、介助お助け、毎日のゴミ出し、裁縫です。このニ

ーズはニーズがあってサポートが始まっています。12月のケーススタディ後、ふれあいサービスの広報の仕方はどうするのか。ニーズ解決型でいくのか、決まったメニュー優先でいくのかをめぐって、11月12月とまた喧々諤々の議論を重ねましょう。この喧々諤々こそが住民同士の学びあい、共に生きる力をつけることだと心から思っています。2018年11月1日

## 減災部会（10・27）報告 金子春夫

＜出席者＞ 鈴木（為）、森田、森戸、中村、山下、新倉、金子

＜開催日時・場所＞ 10月27日（土）10：00～11：45 久木会館

1. 新部会員について：久木連合町内会から、新倉洋一氏が減災部会員に就任された。
2. 減災部会の定期開催について：今後の部会は、各月第4土曜日10：00から久木会館で開催することとした。メールアドレスを持たない部会員には電話で連絡をおこなう。
3. 逗子市地域づくり交付金について：鈴木委員より交付金についての説明があり、減災部会に関係する選択事業として「地域の安全・安心および活性化に関する事業」ということで、交付金受給の可能性がある。11月3日の住民協役員会で申請事業と予算について

審議をおこない、決定した事項を市に申請することとなる。市の認可が得られるかどうかは不明。

減災部会としては、①防災マップの作成費用：地域の住環境を精査し減災活動に役立てるために作成する。予算として30万円。②防災チラシ作成費用：地域住民の防災・減災意識を高めてもらえるよう、年6回チラシを作成、配布する。予算として6万円  
以上の2点を住民協役員会の審議に付することとした。

4. その他意見：①久木会館を避難所として使用することが決定した場合は、必要な什器・備品は市が準備することとなるのではないかと。②今後の部会では、各自主防災組織の活動を話し合い、有効と思われる取り組みを地区全体に広めていく。

## 編集後記

住民協の全戸配布広報誌、住民協ひろば特別号の第2号を10月末に発行しました。

昨年度発行した第1号は、「住民協て何？」に答えることが第1でした。第2号は住民協のメインテーマとされる「地域づくり」について、どのようなイメージを持たれているかを知ることです。

一読してみると、先ず必要なことは住民同士の交流(=コミュニティ)であることがわかります。

30年1月にみんなの食堂が始まって、間もなく1年が経過しようとしています。みんなの食堂という小さなコミュニティから、新しい活動の芽が出始めています。女性スタッフのミーティングの中から、個人で行っていた児童見守り活動をみんなで応援していこうという動きです。

これぞ、住民協というコミュニティが求められている一つの姿ではないかと思えます。……

……(巻頭の田倉会長の投稿参照)

昨年度の第1号は5500部の発行でしたが、第2号は5700部と200部を増刷しました。校区外の皆様にも読んでいただけるよう、2箇所コミュニティセンター等公共の場所にあるスタンドにおいてもらうようにしました。

♪ 私たち女声合唱ディアナは、1975年に当時の久木小学校の音楽教師とコーラス好きのPTA会員によって「久木小学校PTAコーラス」として発足したのが始まりです。1995年にPTA規約が改正され、PTAコーラスが在校生の保護者のみの活動と規定されたことに伴い、1996年4月より女声合唱ディアナとして独立しました。翌1997年には、葉山旧東伏見宮別邸にて“ディアナうぶごえコンサート”を開きました。その後1年おきにコンサートを続け、来年2019年7月13日(土)にはなぎさホールにて“ディアナ第12回コンサート”を行います。



♪ ディーナ発足当時は、久木小学校第2音楽室にて練習。その後桜山青少年会館、久木会館を経て、現在は結・YUI コミュニティホールにて練習を続けています。結・YUI コミュニティホールを建てられた方がディアナのメンバーにいらっしゃるの、素晴らしい音楽環境の施設で練習をしています。

♪ ディーナとして活動を始めたころは、久木小学校PTAの関係者がほとんどでしたが、現在では鎌倉・葉山・横浜・東京からも週1回の練習を楽しみに通っていらっしやいます。

活動としては、1年おきのなぎさホールにおけるコンサートの開催、毎年「音楽堂・おかあさんコーラス」への参加、高齢者福祉施設や久木サロンでの訪問コンサート等を行っています。



♪ 私達が歌っている曲目は、宗教曲・女声合唱組曲・唱歌・ミュージカル曲等々、幅広く様々なジャンルの曲を歌っています。来年の“ディアナ第12回コンサート”では、ニダロス ジャズ ミサ、星野富広作詞の女声合唱組曲、ミュージカル美女と野獣などの曲目を予定しています。そこで先日、星野富弘さんの故郷にある富弘美術館を訪ね、彼の絵と詩の世界を堪能してきました。彼の故郷を訪ねたことで星野富弘さんの詩の世界をそのまま歌で表現できたら・・・と思っています。



♪ 最後にディアナとは、ギリシャ神話のオリュムポス12神の一人アルテミスのラテン名です。狩りの女神、月の女神で背が高く愛らしくすぐれた弓の射手だったといわれています。また、女性の独立心を人格化したものとして神話に登場しています。



♪ ディーナでは、長く歌い続けているメンバーがほとんどですが、ここ数年コンサート後に新しいメンバーを迎えています。音の響きとメンタルハーモニーを大切にしながら、聴いて下さる方の心に届く歌を歌い続けたいと思っています。

ホームページ <http://wediana.nomaki.jp/>

問合せ先 池田 (046 - 872-3666)